

平成21年新司法試験（短答式試験）の結果

平成21年6月4日
法務省大臣官房人事課

1 受験者数等

(1) 受験者数 7,392人（途中欠席39人）

(2) 採点対象者数 7,353人

2 短答式試験の合格に必要な成績

(1) 成績判定

短答式試験の各科目において、満点の40%点（公法系科目40点，民事系科目60点，刑事系科目40点）以上の成績を得た者のうち、各科目の合計得点が215点以上の成績を得たものは、短答式試験の合格に必要な成績を得た者とする（平成21年6月3日司法試験委員会決定）。

(2) 合格に必要な成績を得た者

対象者 5,055人

平均点 248.5点

3 短答式試験の得点

得点		最高点	最低点	平均点	最低ライン (40%)未満
合計得点 (350点満点)		321	91	228.1	
科目別得点	公法系科目 (100点満点)	92	14	63.0	201人
	民事系科目 (150点満点)	143	30	101.7	185人
	刑事系科目 (100点満点)	98	12	63.4	287人

4 参考

(1) 合格に必要な成績を得た者の年齢別構成

ア 平均年齢 30.4歳

イ 最高年齢 69歳

ウ 最低年齢 23歳

(2) 合格に必要な成績を得た者の性別構成

ア 男性 3,770人〔74.58%〕

イ 女性 1,285人〔25.42%〕

5 加点措置について

1日目3時限目を実施された短答式試験刑事系科目に際し、広島試験地の試験室（受験者69名）において、監督員が試験終了時刻の約1分前に試験の終了を告げたことにより、適正な試験時間の確保がされなかったことが認められた。

6月3日に開催された司法試験委員会において、これに関する措置として、上記試験室で受験した受験者全員につき、短答式試験刑事系科目の得点として3点を加算することが決定された。